オムソバと母と指数関数と

私立文芸が丘高等学校　二年

高文連　花子

あなたは言いました。

確かに午後二時半に言いました。

オムソバは指数関数だって……。

くるくるくる。

もやもやもや。

黄色と色の混濁した意識の中で、たしかにオムソバは一定のリズムで私たちの食指を受け入れようとしているかのよう。

ここに注意してください！！

（応募時は本テキストボックスごと消してください。）

◆「……」「―」は2字分使う、縦書きの数字は漢数字にするなど、原稿用紙の書き方を遵守するようにしましょう。

◆ファイル名を【部門・学校名のひらがな(”県立”などの属性や”高校”を除く・略称不可)・学年(ローマ数字・全角）・氏名・題名（短歌・俳句は初句・部誌紹介は部誌名）】の順で、それぞれスペースを空けて記したものにして下さい。

例：詩　ぶんげいがおか　２年　高文連花子　オムソバと母と指数関数.docx

◆複数応募の場合は一つにまとめず、お手数ですが、一作品ごとにファイルを作ってください。

もやもやもや

くるくるくる

母のことは、どうでもよい。

俺のことも、どうでもよい。

そんなわけはない。

そんなわけでもいけない。

わかっていながら、

湯気が密かに笑っていた。